

2012年2月20日

今年で4回目を迎える、アジア最大の医療機器製造・設計に関する展示会とセミナー

「MEDTEC Japan 2012」を開催

～2012年4月18日（水）・19日（木） 於：パシフィコ横浜～

- 過去最多の350社の出展社（うち約100社が初出展）および10,000人以上の来場者を想定
- 3つの専門エリア「工作機・金属エリア」「プラスチックエリア」「RP・CAD/CAMエリア」を新設
- 医療用エレクトロニクスの展示会「Design MED Japan」を同時開催（3年連続）
- 日本発の革新的な医療機器を表彰する「MEDTEC イノベーション大賞」の審査・発表（初開催）

アジア最大の医療機器製造・設計に関する展示会「MEDTEC Japan 2012」（主催：UBM Canon Japan G.K.*¹、後援：日本医療機器産業連合会）が、来る2012年4月18日（水）・19日（木）の2日間にわたり、「パシフィコ横浜」（横浜市西区みなとみらい）にて開催されます。

※1：UBM Canon Japan G.K.

世界の先端製造業を対象に、医療機器や製薬分野を中心とする技術開発、情報・コミュニケーション、流通などをサポートするB to B総合メディアプロバイダーUBM Canonの日本法人。毎年、米国内4カ所で行われている「MD&M」をはじめ、「MEDTEC」等の医療機器製造を中心とした年間約30の専門展示会を、世界各地（米州、欧州、中国、インド等）で主催。

「MEDTEC Japan」は、UBM Canonが世界各地で開催している医療機器設計・製造業のための国際展示会「MD&M/MEDTEC」イベントシリーズの1つです。同シリーズは、1983年に第1回「MD&M」（米ニューヨーク）を開催して以来、米州（北米、南米）、欧州（ドイツ、イギリス、アイルランド、フランス、スイス）、中国およびインド等で毎年開催。日本では2009年4月、「パシフィコ横浜」において国内初の専門展示会として開催されました。

今回で4回目の開催となる「MEDTEC Japan 2012」は、過去最多の350社の出展が予想されます。そのうち約100社の初出展を見込んでおり、医療業界向けに新しい技術や製品が展示されます。

開催規模の拡大に伴い、「工作機・金属エリア」「プラスチックエリア」「RP・CAD/CAMエリア」の3つの専門エリアを新設。また、「医療エレクトロニクスエリア」として関連分野に特化した展示会『Design MED Japan』を同時開催（3年連続）します。

さらに、今開催に合わせて、優れた国内企業による日本発の革新的な医療機器を表彰する「MEDTEC イノベーション大賞」を創設。初日に展示会場内にて、ノミネート企業による最終プレゼンテーション実施し、有識者による審査を経て、各賞の発表・表彰を行います。

「MEDTEC Japan」には毎年、多くの設計・製造関係者が来場（2009年：4,301人、2010年：6,457人、2011年：7,374人）。サプライヤーとユーザーが一堂に集い、活発な情報収集と実用的な商談が行われ、相互コミュニケーションの場として活用されています。

<展示会のみどころ>

■過去最多の350社の出展社（うち約100社が初出展）および10,000人以上の来場者を想定

今回も医療機器の最新技術を持つ国内外の企業が多数、出展します。国内の大手メーカーをはじめ、アメリカやヨーロッパを始め、アジア各国など海外からの企業を含め、過去最多の350社（うち約100社が初出展）の出展が予想され、来場者数も10,000名以上（昨年：7,374人）と、大幅な増加を想定しています。

■開催規模の拡大に伴い3つの専門エリアを新設、全体を5つの分野別エリアで展示

今回は、出展者数の増加と開催規模の拡大が見込まれることに伴い、全体を5つのエリアに分割して展示します。特に専門性の高い「工作機・金属」「プラスチック」「RP・CAD/CAM」の3分野については専門エリアを新設し、来場者が関連性の高い分野を一括して閲覧できるようにします。

また、「医療エレクトロニクスエリア」として関連分野に特化した展示会『Design MED Japan』を同時開催（3年連続）。その他の技術は、「一般エリア」として展示します。

（今回は、治療用医療機器の完成品を展示する「医療機器完成品エリア」の展示を予定しておりましたが、事情により見送ることとなりましたことをご案内申し上げます。）

《各エリアの主な展示製品》

◇「工作機・金属エリア」**新設**

工作機、各種加工機、特殊金属および材料、精密金属表面処理技術、切断・切削技術、ワイヤーおよびスプリング、各種工具・部品

◇「プラスチックエリア」**新設**

射出成型機、押し出し機、各種プラスチック加工機、プラスチック・セラミック材料、プラスチック部品類

◇「RP・CAD/CAMエリア」**新設**

RP/プロトタイピング技術、3Dプリンター、スキャナー、CAD/CAMソフトウェア、CT/MRIデータ処理技術

◇「医療用エレクトロニクスエリア」= 『Design MED Japan』（3年連続）

半導体・IC、センサー、カメラ/レンズ、モニター/画像処理、モーター、動作制御、各種電子部品、EDA、電源・コネクタ、電池、MENS技術、超音波技術、X線・CT・MRI

◇「一般エリア」

完成コンポーネント、各種部品、オートメーション/ロボット技術、接着/接合技術、不織布やテープ、フィルター/膜、包装技術、印刷/ラベル技術、マイクロ/ナノ技術、測定機など。

■業界最新情報の講演や法規制に関するプログラム「MEDTEC Japan 2012 セミナー」

「MEDTEC Japan 2012 セミナー」（事前登録制・有料）は、医療機器産業の最新業界動向、機器の開発・製造・市場投入についての講演や法規制に関するプログラムを予定しています。

■日本発の革新的な医療機器を表彰する「MEDTECイノベーション大賞」を発表（初開催）

このたび創設した、医療機器の製造・設計において、優れた国内企業による革新的な製品を表彰する「MEDTEC イノベーション大賞」（略称：MEDTEC大賞／後援：日本医療機器産業連合会、協賛：日本の技術をいのちのために委員会／日本医工ものづくりコモンズ）の最終審査・結果発表を、展示会初日の4月18日（火）に行います。

応募製品を募集（締め切り：3月2日（金）必着）した後、書類選考にて第一次審査（3月中旬予定）を実施。第二次審査（最終審査）は、展示会場内にてノミネート企業によるプレゼンテーション（10分程度予定）を経て、有識者による審査委員会がその場で審査を行います。

「MEDTEC Japan」では受賞製品を、日本発の革新的な医療機器や部材・部品、加工技術・製造装置として世界に誇れる製品として表彰するとともに、国内外に広く伝えていきます。

<開催意図・背景>

1. 「MEDTEC Japan 2012」の開催意図

「MEDTEC」は、研究機関やメーカーが医療機器製造の新技术や原材料・機械・部品・包装などの技術を展示・公開し、これを求めて医療機器製造企業の技術者や専門家が集まり、相互に情報を交換し、新製品開発や製造技術の向上などに役立てていただくことを目指しています。

昨年の第3回「MEDTEC Japan 2011」には内外から257社／団体の出展があり、出展社・来場者の双方から高い評価をいただきました。

「MEDTEC Japan 2012」は、昨年を大きく上回る規模で専門的な設計や製造技術の検証や、有力なサプライヤーが保有する先端的なノウハウを活用する機会を提供します。

2. 医療機器業界の世界市場動向

世界的に高齢化が進む中、医療機器関連市場は先進国、新興国を問わずコンスタントに市場拡大が期待されています。世界的な金融危機の影響を受け、業績を悪化させる企業や業界が多い中、医療機器業界は堅調な推移を見せています。

日本においても「新成長戦略」の中で、医療・健康関連産業の成長産業化を重要戦略の1つとして掲げており、経済産業省も「医療機器分野への参入・部材供給の活性化に向けた研究会」を立上げ、医療機器関連産業に参入する企業の支援を始めています。

医療機器関連業界では、病気の早期発見、患者に対する診断負荷の軽減というニーズを受け、メカトロニクスおよびエレクトロニクスメーカーが最先端技術を次々に投入しようとしています。こうした状況下において、医療機器関連業界に参入するシステムメーカー、キーデバイスメーカーは医療機器専門メーカーだけでなく、民生・産業分野からの参入も目立ち始めており、医療機器関連業界の裾野の広がりが期待されています。

3. 国内医療市場（約2兆円）は世界第2位

日本における医療機器製造の市場規模は約2兆円規模に達し、世界でも米国に次ぐ第2位の市場となっています。政府も新成長戦略の1つとして「ライフ・イノベーションによる健康大国家戦略」を掲げ、医療機器・医薬品・再生医療における最先端の医療技術の実用化などによる医療イノベーションの促進を目指しています。高齢化が進む中、さらなる市場規模の拡大が見込まれている数少ない業界のひとつです。平成22年における医療機器の国内での生産金額は1兆7134億円、輸入金額は1兆554億円で、合計金額は2兆7689億円でした。なお、輸出金額は4,534億円でした。（「平成22年薬事工業生産動態統計」（厚生労働省）より）

<「MEDTEC Japan 2012」の概要>

- ・名称：MEDTEC Japan 2012 (メドテック ジャパン 2012)
- ・テーマ：医療機器の製造・設計に関する展示会およびセミナー
- ・開催日時：2012年4月18日 (水) 10:00~17:00 / 4月19日 (木) 10:00~16:00
- ・会場：パシフィコ横浜 展示ホール (A・Bホール)
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1
TEL 045-221-2155 (9:00~18:00)
- ・主催：UBM Canon Japan G. K.
- ・後援：日本医療機器産業連合会 (医機連)
- ・協賛：日本医工ものづくりコモンズ/日本の技術をいのちのために委員会
- ・展示内容：「工作機・金属」「プラスチック」「RP・CAD/CAM」の各専門分野における医療機器製造の新技术や原材料・機械・部品。「医療用エレクトロニクス」分野として専門展示会『Design MED Japan』を同時開催。その他、一般的な医療機器・技術など。
※展示詳細は、別添の「出展企業一覧」ご参照。
※「MEDTEC Japan 2012 セミナー」の概要は別紙資料をご参照。
- ・入場：事前登録・招待状で無料、当日は2,000円
- ・公式ホームページ：URL www.medtecjapan.com

<前回の「MEDTEC Japan 2011」会場スナップから>



「展示場内の様子」



「セミナーの様子」

<この件に関するお問い合わせ先>

【読者問い合わせ窓口】 ※記事中の問い合わせ先は、こちらでお願いします。
「MEDTEC Japan ヘルプデスク」
TEL:03-4360-5763/E-mail:helpdeskjapan@ubm.com

【報道関係窓口】 株式会社ユニ・プランニング 担当：白田
TEL:03-5282-8651/FAX:03-5282-8658
E-mail:usuda@uni-planning.co.jp

【リリース発信元】 UBM Canon Japan G. K. 担当：滝川
TEL:03-4360-5669/FAX:03-4360-5301
E-mail:aiko.takigawa@ubm.com